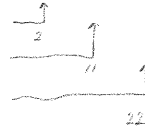


問題2 右の表は、あるクラスの小テストの得点をまとめたものである。次の問いに答えよ。

- (1) 中央値を求めよ。2点 (2) 最頻値を求めよ。3点

得点	0	1	2	3	4	5	計
人数	2	9	11	13	4	1	40



20と21番目の2人とも2点

(1)

equally possible 平等に起こる

学習の基本 7 相対度数と確率

右の表は、さいころを投げて、6の目が出た回数を表にしたものである。回数を繰り返すほど、相対度数は0.167に近づいていくことが分かる。

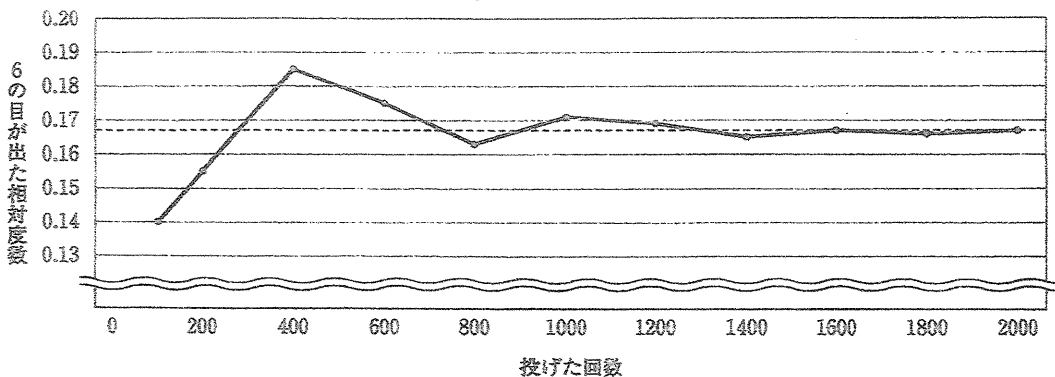
さいころを投げて6の目が出るということがらのように、あることがらが起こると期待される程度を表す数を、そのことがらの起こる確率という。

確率が $\frac{1}{6}$ であるということは、このように同じ実験を繰り返し、そのことがらの起こる割合(相対度数)が限りなく $\frac{1}{6}$ に近づくということである。つまり、さいころを投げて6の目が出る確率は約0.167と考えられる。

さいころの目はどの目が出ることも同じ程度に期待できる。このようなとき、どの結果が起こることも同様に確からしいという。

起こりやすさが平等

投げた回数	6の目が出た回数	6の目が出た相対度数
100	14	0.140
200	31	0.155
400	74	0.185
600	105	0.175
800	130	0.163
1000	171	0.171
1200	203	0.169
1400	231	0.165
1600	267	0.167
1800	299	0.166
2000	334	0.167



0.1668
6/10
= 40
30
40

問題 次の文章は、さいころの目の出方について説明したものである。ア～ウのうち、正しいものを1つ選べ。

- ア 1の目と3の目が出る確率は同じである。
 イ 6回投げると5の目は必ず1回出る。
 ウ さいころを投げて4の目が出たのちに、次にさいころを投げると4が出る確率は約0.167より小さくなる。